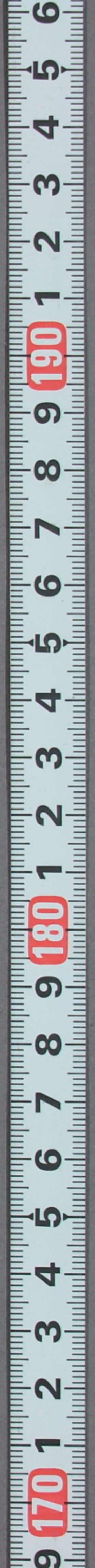


秘

文章不足口傳抄與入。

14
2478
135



狩衣并初色事

一 梅狩衣

红梅狩衣

红梅禊上云時裏濃色也 以云红梅

云時裏紫也

年内着物也

雪下红梅表白裏红梅也 同

是亦色正月十五日丁酉年少仁可着也

一 櫻狩衣

櫻萌木上云表青裏赤也 葉櫻也

白櫻上云面白裏赤也

花櫻也

檜櫻上云表蘂芳裏赤也

蘂芳
赤花也

青柳上萌黃面也 号白柳也

裏柳上表白裏萌黃

款冬狩衣裏黃也

織流八立紅貫黃也

花疑冬上表赤也

或說裏一向黃也云

裏山吹上裏萌木也

或說一向黃裏白ノ新黃也
云款冬ノ白ノ色也



一 若鷄冠木狩衣

面裏ウラス青色三月末四月初ニ着也

只萌木ト云フ此比ナラス着也

濃萌木薄萌木スルヘシ

一 比曾久色狩衣 蜀 スケ竹ノ子也ニシキ五位ノ色也

面立ハ紅貫者也 裏黄也

裏薄色面款冬秋ハ比蜀色ト云也

一 苗色狩衣 袖ノ色ニ布衣ニ用之

薄萌木ニ黄ヲ着也 羌吹

一 檜皮狩衣 織糸立ハカ子貫ハ濃也 カ子ヲサニテ 藜芳ニシム

九檜皮ト云ハ同色ニ裏ヲ添之若人着吹

檜皮白裏ハ四十以後着吹

一 桔梗狩衣 表裏濃花田之又裏萌木ニスル也

一 藤狩衣

織糸 立萌木ノ貫紫 裏萌木

一 卯花狩衣

面白裏萌木也

一 萩狩衣

織糸 立萌木貫紫 裏萌木是ヲ萩ノ立青ト云フ

一 菊 葉糸トハ表白裏青

花糸トハ白薄藜芳裏濃藜芳也

一 松 雪下ノ松トハ白白裏青也

松重トハ面萌木裏藜芳赤色ノ引リニスル也

一 牡丹 裏濃ニ換方ヲモホスニ云也

面薄紅裏青

一 瞿麦

白薄ニ換芳 裏萌木

一 虫襖 織糸立ハカ子貫紫 裏黄也

薄色ノ張裏スル自秋初冬中着年改テ不着添色之 時此色ヲ見也

積與考一
園公傳自初
三年五月三
日入夜茶院
注長緒狩衣
直平不差袖
結

一 結狩衣
糸三ツ 此ムスヒヲ結又水ヲモムスヲ也

一 張緒狩衣
カトテ下着ツリ 結先テムスシ若クモ醫階ノ輩ハ着緒先
ニ着ヤラトシテカトナシテ着ハ結不差ニテタモトクヌイフニ
テ着後ハ不着

一 女郎花
織振至青貫黃ナリ裏萌木生裏ヒナリ重テウツクニ重ナリ
ナリ

一 白襖狩衣
表裏共ニ張裏生何モアリ法表ト云ハ粉ヲテ入テ法若テ
着其後生法ト云ハ生ノ筋ヲチラスニテ張此後ニ生裏也布ノ布
衣ノハ白襖ト云ハス白法布衣ト云ニ襖トハ裏ノ名ニ

一 檀染
表赤 裏黄ニ

一 花田
織振貫白ニ表裏日色月花田ト云濃薄年ニ随ヒ白
裏去之濃花田ニハ生裏ワロニ必練裏ニ染布衣之時下ハ紅
ニテ染テ上ラ音花ニテ染ニ又音赤ニテ七染ナリ

一 二藍
織振紫ノ糸ニテ立意織吹舟色赤意音意ヲテ入テ染ニ
赤花ヲ多同裏ヲ九ニ藍ト云白裏ニ白袖ノ結先テハ淨衣帯先
テハ一日暗ニ着也

一 香狩衣
貫白下口香白裏染色ハ縮ニテモ布ニモ先紅ニテ下染ニテ
コナニテ染ナリ本儀ハ仙香ノ煙ニ又ハヒホヤムニテ煙ニ若ク

一 朽葉
青朽葉青黒キ青裏舟ニ武士ノ着色ナリ五位ニ着練
裏生裏ヨシ布ニ生裏ウツクニ布ノ二重ニテ着ス

一 薄青
貫白也白裏アリ布ノ白裏ヒナリノ重テウツクニ

一 薄物
色ハ有息糸ヲ深テ薄青薄色ナトニ織タルハ織薄物ト云

薄物
モチツシト号
表裏同又裏濃モナリ年々ノ仁着ニ

女房ノ衣

一 黄唐紙

立黄

貫白

裏青

男女夏着ナリ

一 青唐紙

立薄青

貫濃萌木

裏青

老者白裏

一 薄様

何ニモ上ハ濃次カニ厚クニホフナリ

一 苜

何ニモ上ハ薄テ次第ニ下濃也

一 浮泉綾

立生貫練 浮泉綾ト云ハテウノ凡也

一 練薄物

立生貫練

一 二重生ト云ハ生草ノ二重人ノ至家着ニ女房ノ薄衣必二重文ニ

乱文ノ一重文ト云ハ猶自余ノ文着多ハ何ニモ上ハ文ニ猶アハヒニヒラセ

一 赤色

立紅貫フシカ子 又況立貫サ襦芳

一 忌染

只濃紫也冬着 其ハニ藍糸ヲ染テ織

又説立貫サ襦芳云

女房ノ色凡ト云ハ赤色青 衣ニ染リノ裳ヲ着反ハ三重タスキ

女房ノ衣ニ上白梅ト云ハ上二重白中二重紅梅下二重蕨家元

梅トハ上紅梅下サ襦芳也

朝觀行幸之時因母也五重元皆紅ヲ着即

上臈小上臈ハ織物唐衣冬ハ只縮ニカイフテ書カイフト云ハ青花ニテ

大海ノ水ヲ書中ニ目ヲ書カイフノ裳ハ小上臈中下臈モ着上臈ノ

裳衣ハ冬ニ三重タスキ 綾ニ桐竹鳳凰ヲ緋ニヤウ緑ニヤウニテ書也

ノ裳衣ト云ハ反ハ二重タスキ 薄物繪ハ同中臈下臈ハ無文ノ唐衣

秋ノ立青ト云ハ立萌木貫紫 裏青 祇園會ヨリ 九月ニテ着

蕨芳生衣トハ上サ襦芳裏白祝ニハ生ハ不着反一重カセ子ニモ

生ラハ不着強一重カセ子トテ綾ヲ張テ着

三ル色ハ檀雲 青花ヲ黄ニ返テニセテ染カ八九廿人老者白裏

ニテトクサ七六七十老者着

アタリリノニニナリ 廿四五六ノ間可着也

ヒフニナウ 表香 裏赤

一 びっ色 又狩衣事

二十余ノウキワカセテニテニハハハハハ

ニキメリナリ

一 ふうむき

あざ色

あざ色

あざ色

あざ色

あざ色

あざ色

あざ色

あざ色

あざ色

あざ色

あざ色

三十余りありおきておむむらう

三十余りありおきておむむらう

三十余りありおきておむむらう

三十余りありおきておむむらう

三十余りありおきておむむらう

三十余りありおきておむむらう

三十余りありおきておむむらう

三十余りありおきておむむらう

三十余りありおきておむむらう

三十余りありおきておむむらう

三十余りありおきておむむらう

三十余りありおきておむむらう

あざ色

あざ色

あざ色

あざ色

あざ色

あざ色

あざ色

あざ色

あざ色

あざ色

あざ色

一 布衣事

公卿階上人諸奉入色に威より切にさへし結ひされし時
けぬきさやけぬきささし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし
年よりていかにていかにていかにていかにていかにていかに
くをわらささし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし
らといぬささし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし

六位の時よりさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし

上よりぬきささし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし
むささし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし
公卿其色結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし
きいぬきささし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし
版白の一文二尺や色に結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし

又侍者位を時橘木橘或鐵具橘きさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし
物橘木橘或鐵具橘きさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし
付橘木橘或鐵具橘きさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし
よりて木橘或鐵具橘きさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし

後興方
國書院
永
和
中
將
之
氏
也
鐵
襖
也

布橘木橘或鐵具橘きさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし
とく持衣小細のさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし結ひさし

此抄伯二位忠富上所持本二卷之次第陸筆不可
出代所しる也

永心書三卷春作 一校了

内古長志

